

よこそうをよりよく知るためのフリーマガジン

# プロムナード

2024年

6月号

Vol.374

毎月1日発行

## 特集

『横浜総合病院の物忘れ外来の  
これまでとこれから』

神経内科医 山崎貴史

## よこそうニュース

『加地辰美放射線科部長が

瑞宝小綬章を受章』他

新連載『薬剤師さんにキイテミタ』 薬剤師

領家朋美

連載

Dr.長田の認知症学事始  
Dr.田中の糖尿病人物往来

谷川博士のお薬よもやま話  
よこそう医療福祉情報局

TAKE FREE

# 特集

## ■横浜総合病院の物忘れ外来の4つの顔！■ ～横浜総合病院 物忘れ外来これまで～



横浜市の年齢分布予測をみると高齢者の人数分布には明らかに深刻な地域差がみられます。今後も高齢者が増え続ける地域では高齢の認知症患者は増加の一途を辿ることがみこれます。そういう意味において高齢者が増える地域では認知症診療が極めて重要な役割を担うといつても過言ではありません。こうした背景を踏まえると横浜北部エリアに位置する横浜総合病院の果たすべき役割は自ずと明確となります。地域に密着した二次急性期病院としての機能を担うとともに横浜市からの受託事業である認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チームを推進することが地域の期待に応えることになると我々は考えております。

横浜総合病院の物忘れ外来では認知症の早期診断・早期治療に加えて、高血圧、糖尿病、心臓病、フレイル※、整形外科疾患などの合併症を他の診療科と連携して包括的に診療しております。そして、介護保険申請、特定機能疾患認定、障害年金申請、身体障害者手帳の交付、神奈川県警からの依頼による運転免許更新に

関わる診断などの業務も積極的に行ってています。また、横浜総合病院の物忘れ外来は、



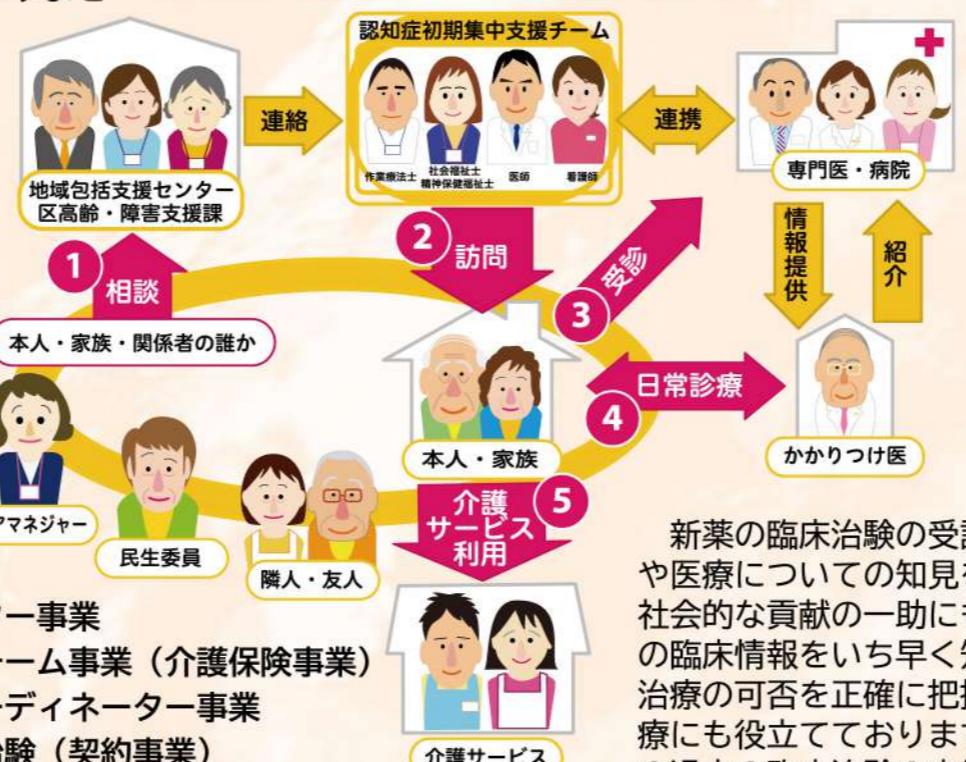
### ①認知症疾患医療センター事業

※フレイル…加齢により心身が老い衰えた状態のこと。

# 横浜総合病院の 物忘れ外来の これまでとこれから

(神経内科医 山崎 貴史)

## ②認知症初期集中支援チーム事業



新薬の臨床治験の受託は最先端の治療や医療についての知見を得るだけでなく社会的な貢献の一助にもなり、専門分野の臨床情報をいち早く知ることで新しい治療の可否を正確に把握し通常の外来診療にも役立てております。横浜総合病院の過去の臨床治験の実績に基づいて国内で行われる認知症の新薬開発に関連する臨床治験の依頼を受けております。臨床

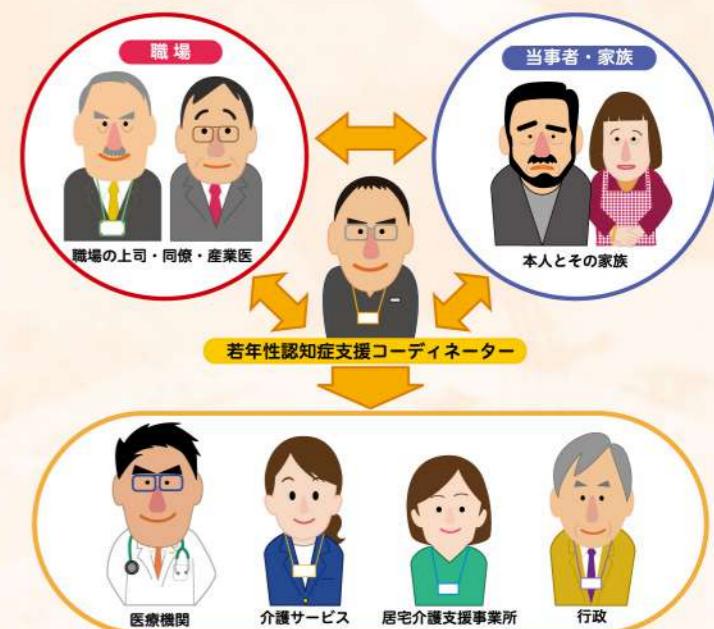


## ④新薬にかかわる臨床治験

青葉区内の認知症初期集中支援チーム事業は、当事者やその家族から直接の相談を受ける事業ではなく青葉区内の包括支援センターが単独では解決しえない相談に対して横浜総合病院の認知症初期集中支援チームの多職種のメンバー（医師、精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士、看護師など）で事業を検討し自宅訪問をおこなっております。認知症初期集中支援チームでは主に自宅訪問や支援チーム員会議で得た情報をもとに介護資源の導入や定期的な医療介入に継ぎ、安定した自宅療養生活の確保につとめています。具体的には支援チーム員会議は毎月1回開催し、他に院外では専門職を交えた啓蒙活動として講演や勉強会を定期的に開催しております。

若年性認知症支援コーディネーター事業（精神保健福祉士：山田亮介 主担当）では青葉区・緑区・都筑区・神奈川区の4区のエリアを担当し、65歳以下で発症した様々な認知症の方の相談窓口として対応する他に、年間数回

にわたり当事者とその家族とを一同に会して直接対面で問題解決や相談にのる活動を行っております。若年発症の認知症ならではの就業や経済、介護事業所不足などの問題があるため解決できない問題も多く経験しますが対策と一緒に模索して適切なアドバイスや必要な事業・事業所への案内などを働きかけています。



## ③若年性認知症支援コーディネーター事業

治験のあらましとして当院の物忘れ外来へ通院し新薬の効果と開発メーカーの提示条件に合致する方にお声がけさせていただいています。臨床治験の説明を受けても差し支えないとする方に治験コーディネーターを紹介し、治験コーディネーターの丁寧な説明を交えて臨床治験にご賛同いただけた方が臨床治験にご参加いただいております。

# 特集

## ■レカネマブ治療の紹介■ ～横浜総合病院 物忘れ外来これから～

製薬会社大手のエーザイ（株）などが開発したアルツハイマー病の新たな治療薬「レカネマブ」は2023年12月に保険適応になり全国的に投与が進んでいる新薬です。しかし2024年1月初旬の時点では横浜市内の「レカネマブ」導入の進捗は全国の準備と比べやや遅い状況でした。

横浜北部エリアに位置し、連携型認知症疾患センターを拠点とする横浜総合病院では、地域で暮らす認知症の方たちが新たな治療を受けられないという不利益を被らないために院内の関係スタッフにも献身的に協力していただき、2024年2月26日から横浜総合病院（平元院長）で「レカネマブ」の投与が始まりました。「レカネマブ」投与を開始できる施設の要件は、脳内のアミロイド蛋白の蓄積を的確に検査所見で判断でき、かつ治療に際して注意を要する画像所見の適切な管理ができる複数名の常勤専門医師が必要とされます。

「レカネマブ」はアルツハイマー病の原因蛋白とされる脳内に蓄積するアミロイドベータ蛋白の内で毒性を示す蛋白に選択性的に結合して除去することでアルツハイマー病の進行を遅らせる作用が示されています。本邦初の病態修飾薬で治療の対象となるのは軽度の認知症と認知症の前段階である軽度認知障害（MCI: Mild Cognitive Impairment）の方になります。



「レカネマブ」は2週間に一度の点滴治療で原則では一年半の期間続けることとなります。体重50kgの人をモデルケースとした標準薬価は年に約298万円で、これに関する費用対効果について疑問視する声もあります。しかし、今までの認知症診療では各医師の判断にゆだねられていた治療対象外となることもあったMCIが「レカネマブ」では治療適応となったことで、治療の選択肢が増えたことは費用面を差し引いても非常に有意義であると思っています。

## ■終わりに■

本特集では横浜総合病院の物忘れ外来の「これまでの働きかけ」と「からの働きかけ」の紹介をしました。これまでの働きかけの紹介には横浜総合病院の物忘れ外来が以前から担当している役割を紹介しました。からの働きかけの紹介に話題に新しい「レカネマブ」治療についての当院の取り組みを紹介しました。認知症治療のエポックメイキングをしたことは既に認知症を発症している方と一線を画す治療を伝える意図があったわけではなく、認知症診療において新たな治療の選択肢が加わったことで横浜総合病院の物忘れ外来が軽症の認知機能障害から高度認知症の方まで誰一人として認知症の方が取り残されることのないよう可能な限りサポートしていくとの思いで紹介させていただきました。

**山崎 貴史 / Takashi Yamazaki**  
**神経内科部長**

東京医科大学（1999年卒）

東京医科大学病院

秋田県立脳血管研究センター

日本神経学会認定神経内科専門医・指導医

日本認知症学会認定専門医・指導医

<https://yokoso.or.jp/department/neurology/neurology2>



4 Takashi Yamazaki

## Dr. 田中の 糖尿病人物往来

毎回このシリーズでは糖尿病に関わりのある人物や事物をご紹介していきます。雑学的な内容ですが糖尿病の予防・治療に関する何らかのヒントになれば幸いです。

糖尿病センター長 田中 逸

### 第2回 医茶同源のコンセプトを提唱した栄西



#### 鎌倉時代きっとの知識人



栄西  
1141年～1215年

今回は鎌倉時代の禅宗の始祖で臨済宗を開いた栄西（ようさい、えいさいとも読みます）を取り上げます。栄西は14歳から比叡山延暦寺で修行僧として研鑽を積み、仏教の学問的研究のために二度も宋に留学しています。二度目の入宋では47歳（1187年）から5年間、新しい仏教「禪」について深く学びます。帰国後は鎌倉に下向し、源実朝とその後の鎌倉幕府から厚い信頼と帰依を受けます。鎌倉の寿福寺、京の建仁寺の建立に尽力し、我が国で最初の禅宗である「臨済宗」を開きます。

#### 「喫茶養生記」を源実朝に献上

栄西は我が国で初めてお茶に関する本格的な書

あづまかがみ

物を著作した人として有名です。鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」には源実朝にお茶とその効用を著した書物を献上したと記録されています。この書物は「喫茶養生記」と呼ばれ、栄西はその序文に、「茶は養生の仙薬であり、人の寿命を延ばす効能をそなえたものである。インド・中国では茶を貴び重んじており、得がたい仙薬である」と書いています。緑茶にはカフェイン、カテキン、ビタミンCが多く含まれ、中国では「医茶同源」と考えられて僧院でも飲用されていました。禅宗では長時間の座禅を行うため、睡魔に見舞われるのを防止する上でカフェインを含むお茶が貴ばれたのではないかと思いますが、それ以外の様々なお茶の効用を当時の中国人は既に知っていたようです。

#### 「喫茶養生記」の後半は桑の効用を紹介

喫茶養生記は上下2巻で構成されています。

上巻はお茶に関する記載ですが、下巻は5つの病気に対する桑の木の効能が述べられています。この中で栄西は飲水病（水を絶えず飲む病気、糖尿病と考えられています）には桑の粥がよいと述べ、そのレシピを紹介しています。「桑粥は桑の木の枝で比較的短いものを、10cm程度に裁断し、さらに3、4個に細かくさき、黒豆一握りと一緒に水を3升入れて煮る。豆が煮えたら桑を取り除いて適量の米を加え、さらに煮て薄粥を作る。塩は加えずに空腹時に食すこと、桑の枝はその年に芽生えた若いものがよい」としています。



京都建仁寺 開山堂



#### 桑の葉には血糖値を下げる成分が含まれている

大変興味深いことに、桑の葉には血糖降下作用が実際にあります。それは「デオキシノジリマイシン」という成分によることが分かっています。この物質は小腸の糖類分解酵素に結合して、その作用を低下させますが、この物質に構造が極めて近い薬剤が経口糖尿病薬として開発され、糖類分解酵素阻害薬として現在広く使用されています。また血糖改善が期待できる民間薬として桑の葉茶が販売されてもいます。

#### 医茶同源の考え方を提唱

医師と呼ばれる職業人が存在しなかった鎌倉時代にあって、栄西は単に禅宗僧であるだけでなく、医茶同源の考え方と桑の効用を提唱した書物を著作、実践した知識人です。当時としては驚異的な75歳まで精力的に活動し、建仁寺で死去します。写真は京都建仁寺の開山堂ですが、彼はこの奥の墓所に眠っています。

Illustration by Ken Nagata

じんぶつごにん  
人物誤認臨床研究センター長  
あざみ野健診クリニック施設長

長田 幹

Dr. 長田の  
認知症学事始

にんちしようがくことはじめ

## 人物に対する見当識障害

長男に付き添われて物忘れ外来を受診した高齢の患者さんに、「今日はどなたと一緒に来られましたか?」と質問すると、「今日は弟と一緒に来ました」と返答することがあります。また、夜中に認知症の夫が妻に向かって「どこのどなたか分かりませんが、いつもお世話になっております」と他人行儀に挨拶することも珍しくありません。このように、息子を弟と間違えたり、妻を正確に認識できないなど、自分に非常に近い人物を正確に認識できない症状は、人物に対する見当識障害で「人物誤認」と言われます。注意散漫や判断力の低下が背景にありますが、こうした症状は常に持続して認められる訳ではなく、ほとんどの場合は、息子を弟と勘違いしたり、妻が誰だか分からなくなつても数分後から数時間後には正確に認識することができるので、症状は浮動的、状況依存的に出現すると考えられています。

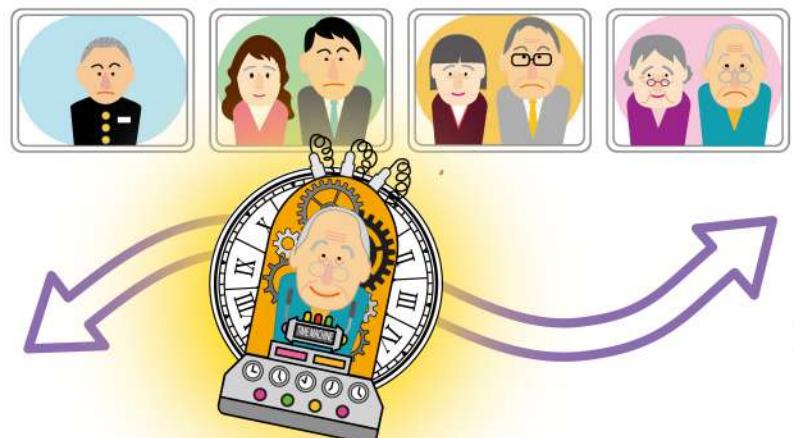
## タイムマシーンで時空を移動

付き添いの長男を弟と紹介した直後に「貴方のお歳はいくつですか?」と問うと、「まだ70歳になつていません」と答えることがあります。ここでは、自分の年齢を実際よりも10歳以上

も若いと認識するために、中年期の長男を弟と勘違いした可能性が考えられます。「認知症の人々はタイムマシーンに乗って時空を瞬時に移動している」と指摘する研究者も居るよう、認知症の人にとっての「今」は必ずしも現在のこの時刻ではなく、中学生の頃であったり、新婚時代であったり、会社でバリバリ働いていたころであったりします。したがって、タイムマシーンに乗って新婚時代に戻った自分にとって、目の前に現れた高齢の女性を即座に妻と認識することは困難かもしれません。しかし、またタイムマシーンに乗って現在に帰ると高齢の妻を正確に認識することができます。

尊厳と  
自己肯定感

一方、人物誤認で認知症の人が否認しないのは、誤認している対象(人物)そのものではなく、その人物との関係性や以前とは変わってしまった人間関係であると指摘する専門家もいます。家族から強く叱責された後に、叱った人物に対する人物誤認が出現することも珍しくないことに留意すべきでしょう。したがって、人物誤認の対象人物を含めた周囲の人達が接し方を変えていくことが必要です。注意したり叱責するよりも、褒めたり、感謝する場面を増やして、本人の尊厳や自己肯定感を高めるように工夫することが大切です。

お薬にまつわる  
あんな話こんな話  
そんな話も

谷川博士の

## お薬 よもやま話

## お薬の飲み合わせ：代謝への影響

代謝を受ける機会があります。

CYPの後ろについている2C19とかって何?

CYP 2 C 19

アミノ酸の相同性に基づき  
命名されています  
40%以上相同 ファミリー  
55%以上相同 サブファミリー

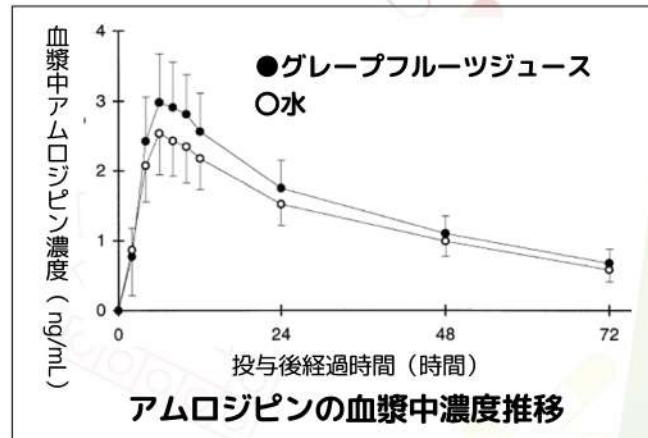
分子種番号

サブファミリー

ファミリー

■ここで一つ、代謝に関する薬物相互作用の研究報告を紹介します。

健康な大人の男性12人（平均年齢26歳、平均体重76kg）に、グレープフルーツジュース又は水で、アムロジピン（血圧を下げるお薬）を5mg投与したときの、アムロジピンの血漿中濃度推移を下図に示します。



Eur J Clin Pharmacol (1996) 51:189-193 Fig.1を改変

つまり、アムロジピンをグレープフルーツジュースで服用すると、水で服用したときに比べ、アムロジピンの体内に存在する量が多くなります。アムロジピンは主にCYP3A4で代謝を受けますが、グレープフルーツジュースがこのCYP3A4の働きを抑えて（阻害と呼びます）、アムロジピンが代謝される量を抑えるためと考えられています。ただし、血圧を下げる効果については、血漿中濃度ほどの差は認められませんでした。これは、アムロジピンの体内の量の違いほど、効果の違いが出ないことを意味していますが、この研究では健康な（つまり高血圧ではない）大人の男性を対象としたことも一つの要因と考えられます。

次号も博士のよもやまが続きます

次号連載第二十二回  
に續きます



よこそり薬師さん

キイテ  
ミタ  
第1回

薬剤師：領家朋美  
出身：山口県下関市  
好きな食べ物：果物全般  
(今の気分はリンゴです)

お薬にまつわる質問を現役の薬剤師さんに聞き、専門家目線でのアドバイスなどを解説します！

Q 薬剤師を目指したきっかけを教えて下さい

——薬剤師を目指したきっかけを教えてください

高校まではフグで有名な山口県の下関で育ちました。生物の科目が好きだったこともあり、大学は理系で進むくらいしか当時は考えていなかったです。2008年当時は就職氷河期と言われていたので資格を所有した方が将来の仕事選択に役立つのではないかと思い薬科大学を受験しました。景気状況が異なっていたら薬剤師になっていたかは分からないですね(笑)。

都内の大学を卒業し、薬剤師として出身地である山口県下の病院に就職しました。薬剤師として総合的な仕事を4年間経験し、もう少し専門的な病棟に関連する薬剤業務を経験したい思いからようこそに転職しました。面接を受けようこそに来た際に、丁寧に病棟業務の説明を受け理想のイメージと近かったことがよこそうを選んだ理由です。よこそうで勤務を始めて今年で7年になります。



——現在のよこそでのお仕事は？

現在は病棟業務を主に行っていますが薬局では知りえない薬剤関連の知識が増える事は仕事の楽しみの一つです。栄養士関連の資格を持っているので管理栄養士さんと一緒にチームで仕事をしたりもしています。ご飯を食べる事ができない患者さん向けの点滴の準備をしたりなどしています。

また病院とは関係ないですが家族や友人に薬について質問されることは多いです。



<https://yokoso.or.jp/bumon/rehabilitation>

——今後について

今後については、オペ室関連の業務をする機会が増えそうなので是非チャレンジしたいと思っています。

——最後に一言

お薬に関するご相談はいつでも気軽にどうぞ！

次回第2回は…

Q 業務中に気をつけていふことは何ですか？

# よこそり 医療福祉情報局

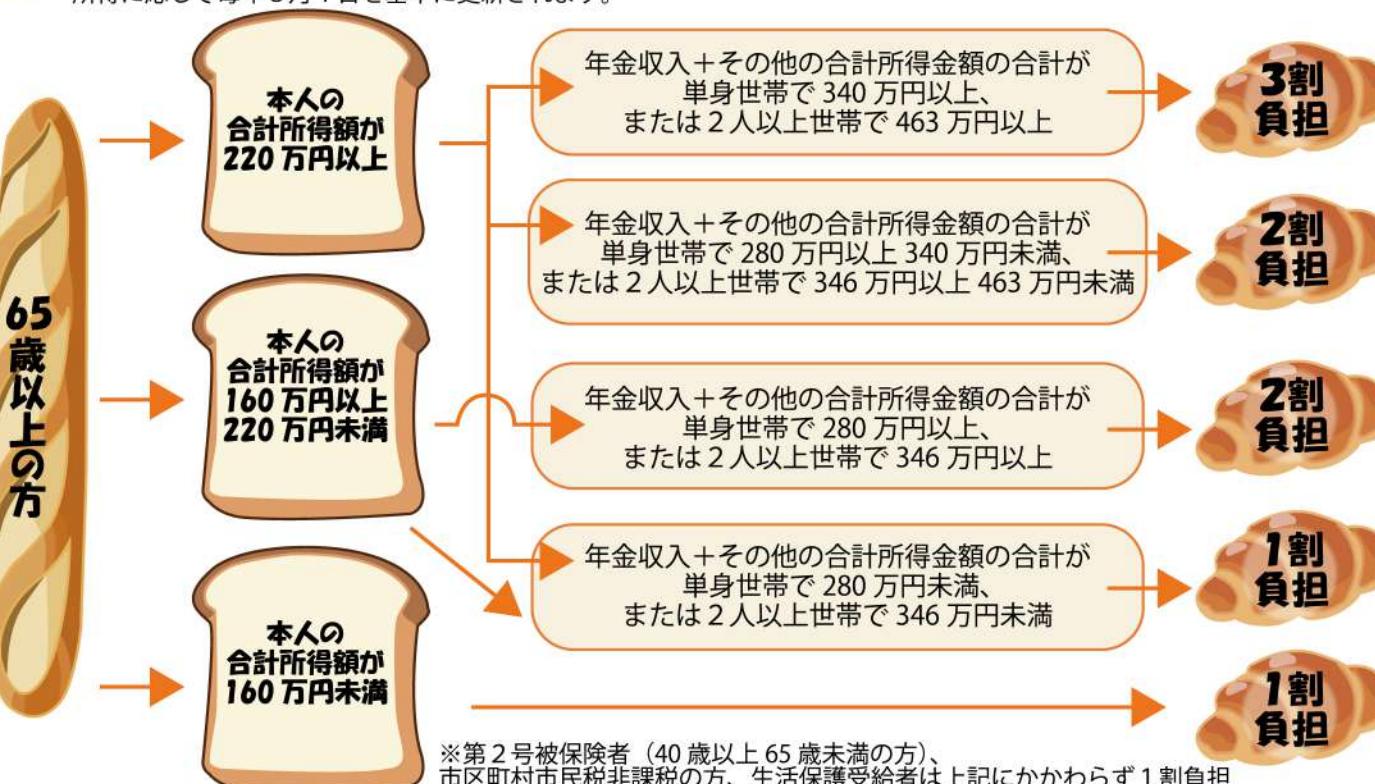
No.15

介護保険サービスを利用する際、どれくらい自己負担が必要？

自己負担を軽減できる制度ってあるかな

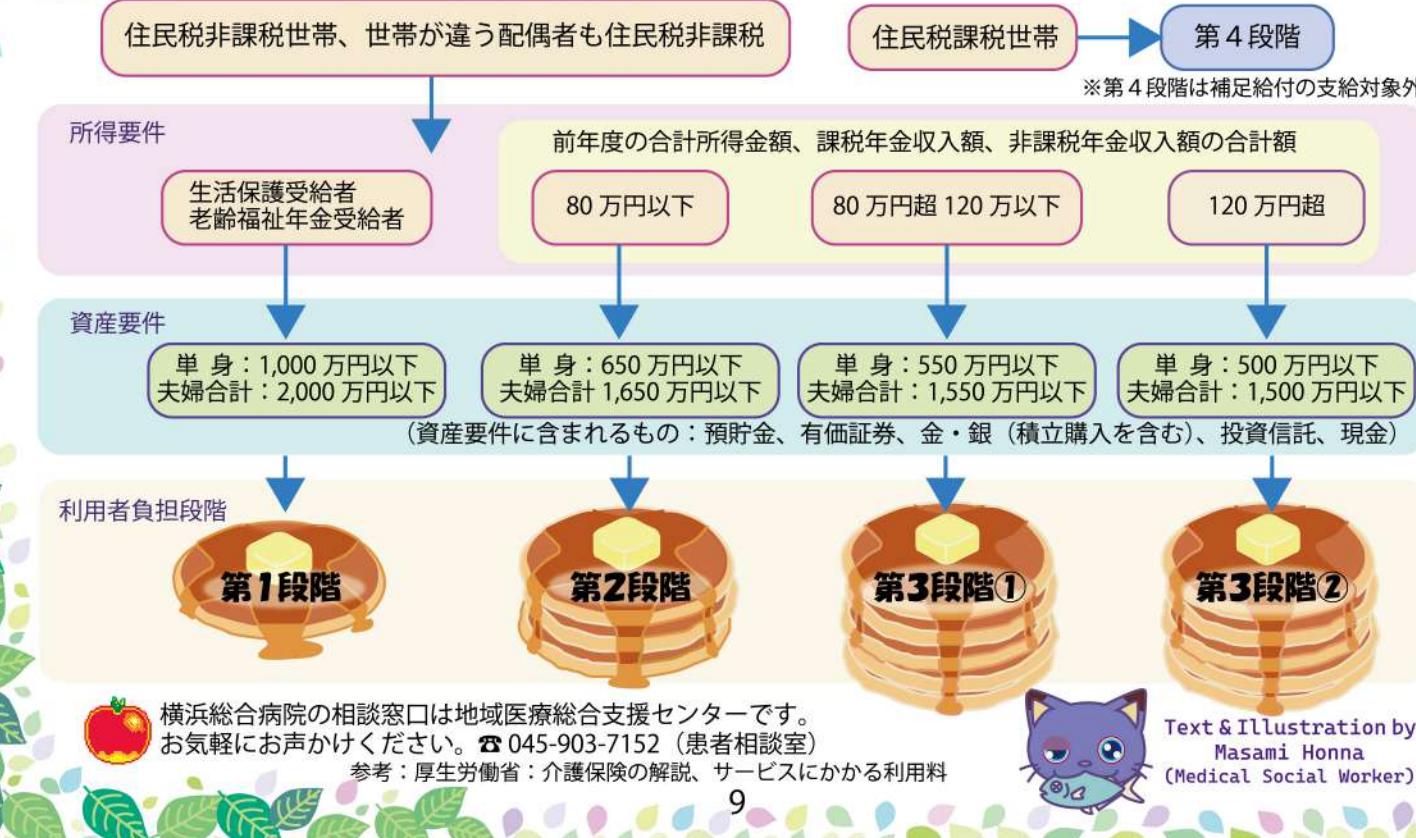
## 介護保険制度における利用者負担割合

介護保険負担割合は、合計所得金額と65歳以上の世帯の人数に応じて、1割、2割、3割のいずれかに設定され、所得に応じて毎年8月1日を基準に更新されます。



## 特定入所者介護サービス費（補足給付）

介護保険施設入所者等の方で、所得や資産等が一定以下の方に対して、負担限度額を超えた居住費と食費の負担額が介護保険から支給されます。該当する方は役所にて申請することで負担限度額認定を受けることができます。



## 当院の取り組みが紹介されました



横浜市大場地域ケアプラザが当院と協力し行っている認知症マフの取り組みを紹介した発表が、第11回かながわ福祉サービス大賞にて優秀賞を受賞しました。



表彰式（前列：大場ケアプラザの皆様 後列：当院スタッフ）

## 春の叙勲で加地辰美放射線科部長が瑞宝小綬章を受章



瑞宝小綬章

令和6年春の叙勲において、当院放射線科部長の加地辰美医師が瑞宝小綬章を受章されました。長年のご功績に対する栄えある受章を心よりお祝い申しあげます。

[https://www8.cao.go.jp/shokun/hatsurei/r06haru/meibo\\_jokun.html](https://www8.cao.go.jp/shokun/hatsurei/r06haru/meibo_jokun.html)



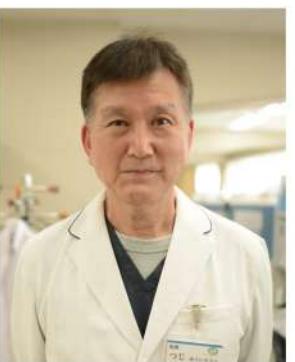
## 新入職医師のご紹介

【名前】辻 祐一郎 / Yuichiro Tsuji

【科目】小児科

【経歴】

昭和大学(1988年卒)  
昭和大学医学部大学院  
昭和大学医学部小児科講師  
せんぽ東京高輪病院  
牧田総合病院  
池上総合病院

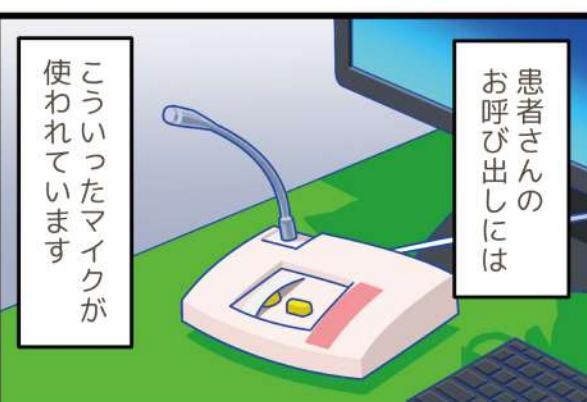
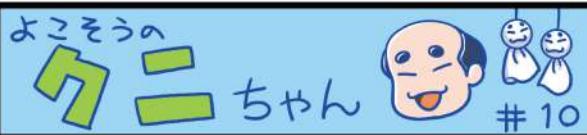


【ひとこと】

平日午後は下記の外来を開始します。

月曜日：尿の外来。腎臓病、夜尿症など。  
火曜日：学校の外来。登校・登園に関する悩みなど。  
木曜日：便の外来。便秘や下痢など。  
金曜日：アレルギーの外来。アトピー性皮膚炎、花粉症、気管支喘息、食物アレルギーなど。

事前にお電話で予約をとってご受診ください。



## 薬剤部ページリニューアル



当院で働く薬剤師のお仕事内容をよりよく知っていただけるようホームページのコンテンツを充実させました。是非ご覧ください。



<https://yokoso.or.jp/bumon/pharmaceutical>



歌うのはいいの？



# 人間ドックのご案内

- ・インターネット予約
- ・あざみ野駅より徒歩1分
- ・総合病院との連携



～年に一度の健康チェックを～  
私たちは定期的な健診をお受けいただくことで、皆様の健康管理、疾患予防のお役に立ちたいと願っております。ご受診を心よりお待ちいたしております。



医療法人社団緑成会 横浜総合病院附属  
あざみ野健診クリニック



〒225-0011  
横浜市青葉区あざみ野2-2-9  
あざみ野第3ビル4F  
TEL:045-522-6300  
FAX:045-903-0777  
Web:azamino-clinic.com



## 横浜総合病院ご案内



循環  
バス

あざみ野駅、青葉台駅、鶴川駅、奈良北団地、こどもの国駅、麻生、すすき野方面より当院直通バスを運行しております。  
詳しくは下記HPをご覧ください。

路線  
バス

東急田園都市線「あざみ野駅」から  
「あ27系統すすき野団地」行き  
「もみの木台」下車徒歩7分  
小田急線「新百合ヶ丘駅」から  
「新23系統あざみ野駅」行き  
「もみの木台」下車徒歩7分

診察時間

午前	受付 8:00~11:30 診察 9:00~12:00
午後	受付 1:30~ 4:00※ 診察 2:00~ 5:00



※6/3より受付終了時間が4:30から4:00に変更となります。



【編集後記】

今年は春先から初夏にかけて、寒暖の差が大きかった気がしますが、皆様体調はいかがですか？気付けばもう6月、年の半分は終わって行きます。編集後記を書きながら季節を追うと通常の3倍速くらいに感じます。そろそろ紫陽花が大きな花をつけて満開になり夏がやってきます。体調管理をしっかりとしながら季節の変化に対応したいですね。

(TOMO KAWAI)

長期にわたって連載されておりました「教えて！薬剤師さん」が先月終了を迎え、今月号からは「薬剤師さんにキイテミタ」が始まりました。お薬は病院にはなくてはならないものです。どうぞ皆様こちらも末長くご愛顧ください。今月号も無事脱稿できましたことを関係各位に厚く御礼申し上げます。

(TAKEHITO OGOMA)

プロムナード VOL.374

発行日：2024年6月1日

制作・編集 医療法人社団 緑成会 横浜総合病院  
総務課『プロムナード』編集室

発行人：岩坪 新

〒225-0025  
横浜市青葉区鉄町2201-5  
TEL 045-902-0001